

特定非営利活動法人 シャーロックホームズ設立趣旨書

どんな立場の市民であれ一人ひとりが主人公として幸せと豊かさを実感できる市民社会の実現に寄与することを目的とし、シャーロックホームズの活動を任意団体として10年前に始めた。めざした事業のニーズはますます高まっていると同時に改めてその責任を痛感している。この先さらに事業を発展させていくためには任意団体としてやっていくのでは限界があり、NPO法人へ転換していく必要があると考えた。要旨は次の通りである。

■シャーロックホームズのやってきたこと

- 1 1998年、いじめによる自殺などの報道が頻繁になされていた年に「シャーロックホームズ」を開設した。
- 2 青少年の居場所、交流の場の提供や就学・就労の支援等を進めてきた。
- 3 不登校やひきこもり等の当事者への居場所の提供や相談、家庭訪問等による支援等行なってきた。
- 4 2003年、急激な少子高齢化への対策の一つとして、横浜市の子育て支援事業である“親と子のつどいの広場事業”の運営を受託し「シャーロックBABY」を開設した。
- 5 親への子育て支援をすることの必要性を考え、親も子も孤立しないよう共に学び育ち合う場を提供すると同時に、親子で参加するという新しい考え方の施設を構築してきた。
- 6 社会の最小単位である家庭を見直し、地域住民やシャーロックホームズを単立った母親や学生たちのボランティアとしての協力を得ながら、“みんなで子育てをする”という環境づくりをしてきた。
- 7 2007年4月「横浜子育て情報スポット」(横浜アンパンマンミュージアム内)の運営を横浜市・企業・市民団体の協働のモデルとして横浜市より委託され、子育て情報を中心とした横浜市の様々な情報の提供をしている。
- 8 2007年10月より携帯電話を活用した子育て情報の配信事業“ベイ☆キッズめ〜る”を開始した。3ヶ月間で登録数が800件を超え、横浜市からの協力も得られるようになった

■NPO法人への転換理由

- 1 現在でも青少年の居場所や交流の場の提供や就学・就労の支援等を進めているが、より地域の理解を得られるよう、また責任ある組織としての安定し

た運営を継続していくための環境を整えるため。

- 2 2007年より始まった「横浜子育て情報スポット」、ならびに“ベイ☆キッズめ〜る”などの新規事業が開始され、その事業の受け皿として任意団体より法人が最善であること。

■法人化することにより目指す目標

- 1 より一層の有効な子育て支援活動、青少年の居場所や交流の場の提供や就学・就労の支援、情報提供等を行なっていくこと。
- 2 幅広い多方面の市民活動団体、企業、行政ともより一層連携・協働を強めていくこと。

以上をもって、市民一人ひとりが自らの思いを実現するために行動し、地域や社会のニーズを敏感に感じ取り、深く考え、果敢に行動し、責任をもって役割を担い、互いに必要な時は支えあう信頼と優しさを培い、自らの関わる社会の決定に参画し、必要があれば社会的な制度を創りだす、そのような自律し、自立意識を持った市民社会の形成をめざすことを目的とする。そして市民がこのような意志を持ってつながり、真に市民が主人公となり、人間としての尊厳を護られ、自分らしく生き、誰もが豊かさを実感できる社会を共に創っていくことが願いであり、目的でもある。

平成20年 2月 6日

特定非営利活動法人 シャーロックホームズ 設立代表者 今井嘉江